

第18回

滋賀県施設・学校合同企画展

～障害のある人の進行形～

〈上〉「海」とがめぐむ(滋賀県立信楽学園)2021年/後期出展
〈下〉「Jeep」和田利人(信楽青年寮)制作年不明/後期出展

《前期》

2021年11月27日(土)～12月26日(日)

《後期》

2022年1月8日(土)～2月6日(日)

《開館時間》11:00～17:00

《休館》月曜(1月10日は開館、翌11日休館)、展示入れ替え12月27日(月)～1月7日(金)

《会場》ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

[〒523-0849 滋賀県近江八幡市永原町上16(旧野間邸)]

《観覧料》一般200円(150円)、高大生150円(100円)、

中学生以下・障害のある方と付添者1名無料

※()内は20名以上の団体料金

《主催》第18回滋賀県施設・学校合同企画展実行委員会、

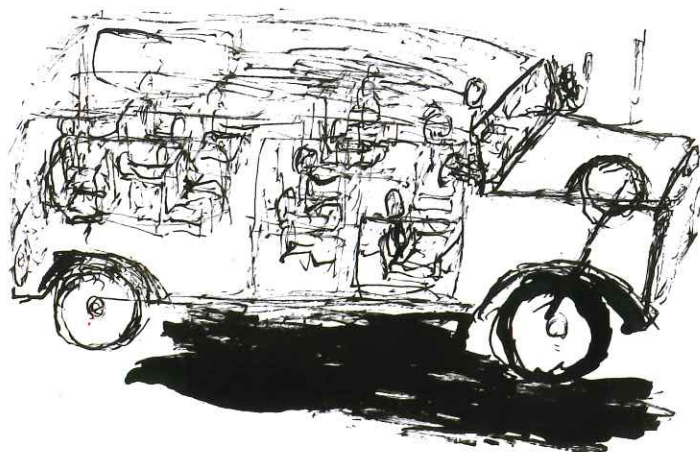
ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

[社会福祉法人グロー(GLOW)]

《後援》滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

《協力》一般社団法人近江八幡観光物産協会、社会福祉法人しみんふくし滋賀

《助成》障害者芸術文化活動支援センター運営費補助金(滋賀県)



【出展施設等】

[前期] 愛育苑／あそしあ／伊香立の杜 木輝／滋賀県立近江学園／甲賀福祉作業所／しあわせ作業所／ステップアップ21／
 滋賀自閉症研究会たんぼぼ／パンパン／救護施設ひのたに園／Bone Labo
 [後期] 社会就労センターあおぞら／障害者支援事業所いきいき／オリーブのねっこ／湖南ダンスワークショップ／せくらはうす／
 滋賀県立信楽学園／信楽青年寮／放課後等デイサービス第2ももスマイル／にっこり作業所／能登川作業所／彦根学園／
 ふくらの森／滋賀県立野洲養護学校
 [協力施設] 放課後等デイサービスじょいなす [アドバイザー] 野原健司(美術家) ※五十音順・敬称略

県内福祉施設等とボーダレス・アートミュージアムNO-MAが実行委員会を組織し、企画する展覧会「滋賀県施設・学校合同企画展 ing... ～障害のある人の進行形～」は、本年度で18回目を迎えます。

障害のある人の日々の生活に寄り添う支援者ならではの目線で展示を構成した本展は、滋賀県内の障害のある作者30人の作品を2期にわたりご紹介いたします。

展示空間には、作者が制作に向き合う、あるいは支援者と関わり合う時間が凝縮されています。日々生み出される、作者の現在進行形の表現を、ご堪能ください。

《関連イベント》

ギャラリートーク

前期:2021年11月27日(土)13:30～15:00

後期:2022年1月8日(土)13:30～15:00

ギャラリートークはオンライン配信します。ぜひご覧ください。

常設ワークショップ

前期・後期、それぞれ出展作品の制作を体験できるような常設ワークショップを実施します。詳細はホームページをご覧ください。



《お問い合わせ》

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA <http://www.no-ma.jp>
 TEL/FAX 0748-36-5018 ✉ no-ma@lake.ocn.ne.jp



《アクセス》
 <電車・バス>JR近江八幡駅北口から近江鉄道バス[長命寺線(6番のりば)]→乗車約10分→バス停[大杉町八幡山ロープウェイ口]下車→徒歩約8分→NO-MA
 <車>名神高速道路 竜王IC→約25分→NO-MA

本展における新型コロナウイルス対応について
 来場される方には、以下の対応をお願いします。

1. 体調不良(発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状)の方はご来場をご遠慮いただきます。
2. マスク着用、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をお願いします。
3. 観覧中は、他の人と接触しない程度の間隔を確保してください。(障害のある方等の誘導、介助を行う場合は除きます)
4. 来場者が多い場合は、入場を制限させていただくことがあります。
5. 大きな声での会話はご遠慮いただきます。

主催者として、以下の新型コロナウイルス対策を徹底します。

- ・ スタッフは毎日、検温・体調確認を行い健康管理に努めます。
- ・ スタッフはマスク着用の上で案内いたします。また、こまめな手洗いをを行います。
- ・ 館内のドア、手すり、トイレなど、手を触れられる箇所の消毒を強化します。
- ・ 館内は密閉した空間にならないよう、定期的な換気を行います。



- ①「タイトルなし」園希実子(しあわせ作業所)2021年/前期出展
- ②「これ」鈴木貴博(伊香立の杜木輝)2020～2021年/前期出展
- ③「マッピング板」日中活動作業班(彦根学園)2021年/後期出展
- ④「タイトルなし」田所友香理(せくらはうす)2020年/後期出展
- ⑤「コップ」藤原尚央(社会就労センターあおぞら)2010年頃～/後期出展
- ⑥「モンスター」滋賀県立近江学園生(滋賀県立近江学園)2021年/前期出展
- ⑦「灰皿」中原広昭(救護施設ひのたに園)2020年/前期出展

この秋、
“芸術鑑賞”
しませんか？

11.20 (土)

10:30 ~ 12:00

NO-MA美術館と知る芸術の秋、おいしいまち

ボーダレス・アートミュージアムNO-MAは、近江八幡市旧市街の重要伝統的建造物群保存地区にある美術館です。

NO-MAの近くを通られた方は、不思議なオブジェや絵のポスターを見かけたことがあると思います。

「なんかわからないけど、なんかしている。」

なんとなくNO-MAの存在は知っているという方、このチラシを見て初めて知ったという方も多くおられるでしょう。

そんなNO-MAの展示会を見ながら、「なに？」を知っていただくと共に、NO-MAのある「旧市街」「重要伝統的建造物群保存地区」のおいしいお店などをご紹介します。

「なんかわからないけど、なんかいい。」

NO-MAとちかくのまちの魅力を再発見していただく、芸術の秋にぴったりの鑑賞ツアーです。

日時：2021年11月20日(土) 10:30 ~ 12:00

集合：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA
(近江八幡市永原町上16)

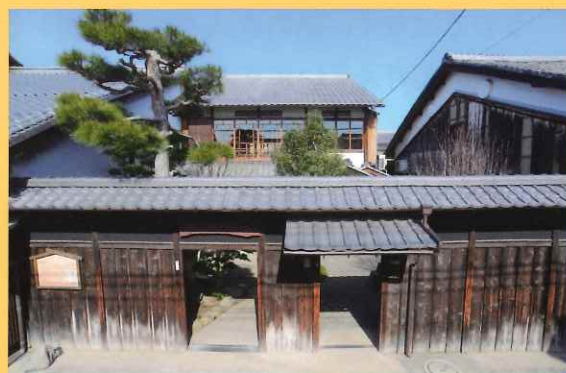
※NO-MAとまちや倶楽部での展示会鑑賞のほか、2つの会場を結ぶ町並みを楽しみます。

定員：20名(要予約)

参加費：無料

※参加される方は、観覧料が無料になります。

主催：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA
社会福祉法人グロー (GLOW)



お申込み・お問い合わせ先

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

TEL&FAX : 0748-36-5018

(11:00 ~ 17:00)

MAIL : no-ma@lake.ocn.ne.jp

※展示会の詳細は裏面をご覧ください。

開催中の展覧会

79億の他人——この星に住む、すべての「わたし」へ

2021年現在、およそ79億の他人が、地球の上で共存しています。めいめいの身体、人種、性、思考、社会的立場——79億通りに枝分かれする個性は、わたしを唯一無二のわたしとして同定すると同時に、わたしとそれ以外の人間とを分断してしまいます。「79億の他人」は、12組の出展者による表現を通して、人と人との差異、あるいはその差異の上でいかなるコミュニケーションが編まれるか、これらを照射する展覧会です。

会期：2021年（令和3年）9月18日（土）～11月21日（日）

開館時間：11:00～17:00

会場：①ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

滋賀県近江八幡市永原町上16（旧野間邸）

②まちや倶楽部

滋賀県 近江八幡市仲屋町中21

休催日：月曜日（祝日の場合は翌平日）

観覧料：一般500円（450円） 一館チケット300円（250円）

※中学生以下無料

※障害のある方と付添者1名無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

主催：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

社会福祉法人グロー（GLOW）～生きることが光になる～

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

協力：社会福祉法人さふらん会、社会福祉法人創樹会、社会福祉法人びわこ学園、MEM



NO-MAは どんな美術館？

ボーダレス・アートミュージアムNO-MAは、2004年6月、「ボーダレス」という言葉に思いを込めて開館しました。

ボーダレス・アートは、障害のある人たちによる造形表現や現代アートなど、様々な表現を分け隔てなく紹介していこうとする、館の展示コンセプトです。

NO-MAは、社会福祉法人が運営する美術館ですが、「障害のある人のため」という限定的な役割を担うのではなく、訪れた人々に「芸術」とは何か、「表現」とは何かを考えてもらえるような場であり続けたいと考えています。

ボーダレス・アートという視座を通じて、人の表現が持つ根源的な魅力を伝えていく美術館です。

NO-MAへのアクセス

- ・電車・バス：JR琵琶湖線 近江八幡駅北口から近江鉄道バス「長命寺線（6番のりば）」→乗車約10分→バス停「大杉町八幡山ロープウェイ口」下車→徒歩約8分→NO-MA
- ・車：名神高速道路 竜王IC→約25分→NO-MA

※駐車場に限りがありますので満車の際は有料駐車場などをご利用ください。



近江八幡駅からのルート案内動画

